

2020.

令和2年4月30日発行

# 伊勢の文化財通信紙 No.4



イセンドは、「いせ」と「送る」の英語「send」を組み合わせた造語です。

## 最新の文化財情報トピックス



今年も宮川堤の桜はキレイな花を咲かせました。「宮川堤桜樹再生プロジェクト」で土壤改良を行った桜樹も新芽を伸ばしてすくすくと成長中です。



国の登録有形文化財に登録されている丸岡家住宅が昨年度実施した美観向上整備事業によって、一部修理が行われました。詳細は裏面をご参照ください。

### 宮川堤桜たより

1

今年2月に行った「宮川堤桜樹再生プロジェクト」での土壤改良の成果が早速現れ始めました。下の写真のように桜樹の根元から新たな芽が出始めています。

2

土壤改良を実施した桜樹全てで、新芽（ひこばえ）が勢いよく育っています。新芽が多ければ多いほど、次の100年に向けての育成の選択肢が増えます。

3

今後も樹木医の助言を受けながら、桜の生育観察を行っていきます。生育状況については、随時、文化財通信紙で紹介していきます！

ビフォー



撮影日：2020.3.3

ビフォー



撮影日：2020.4.2



【土壤改良作業】  
撮影日：2020.2.26

アフター



撮影日：2020.4.21



撮影日：2020.4.7

夏にかけてぐんぐん伸びていきます！

アフター



撮影日：2020.4.21

土壤改良で樹勢がパワーアップ！

↑宮川堤公園の陸上トラックに面した道路敷きの桜です！

### コラム

#### 桜の樹皮の大敵！「カイガラムシ」

右桜の枝に付いた白い斑点は、「カイガラムシ」という昆虫です。カイガラムシは、尖った口針を樹木に差し込んで、養分を摂取します。その際、脚は退化し、写真のように白い綿状の物質などで体を覆います。カイガラムシが付くと、樹皮が荒れて美観を損ねるほか、樹勢に悪影響し、場合によっては、枝の枯死などを引き起こします。



カイガラムシ

埋蔵文化財の照会については、開発場所を記した位置図を裏面記載の伊勢市教育委員会文化振興課宛てにお送りください。確認し、折り返しご連絡します。文化財の保護のため、皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



# 春の桜特集 ～今後の宮川堤の桜について～

宮川堤の桜は、現在およそ700本あります。その多くが高齢化し、樹勢が弱まっている木が年々増えており、毎年台風による倒木や枝折れの被害を受けています。

左上の写真は、平成30年（2018）9月の台風被害の状況写真です。それから1年半後の写真が右側です。暴風により折られた幹の先から新しい芽が伸びてきています。

今後は、宮川堤全体の桜を経過観察しつつ、下の写真のように自力で再生できる木と、手助けが必要な木に分類し、手助けが必要な木については、土壌改良などを行っていきます。

平成30年の台風では、100本以上の桜が倒木や枝折れなどの被害を受けました。



1年半後



新たな芽が伸びています！



## てんぐ巣病

成長異常を起こし、枝が異常に発生する奇形症状を引き起こします。枝の巻き込んだ様子から「天狗巣」病と言われます。症状が進むと枝の枯死や樹木全体の樹勢にも影響を及ぼします。

1年半後



てんぐ巣病の枝

新たな芽が伸びています！



STOP!  
てんぐ巣病



てんぐ巣病の症状が進み、枯死した枝

てんぐ巣病は、原始的な子のう菌の一種であるTaphrina属菌による生育異常です。感染した枝の接触や、風通しが良くない場所での空気感染によって広がっていきます。新芽がてんぐ巣病にかかり、枯死してしまわないよう他のてんぐ巣病の枝の剪定が今後の課題です。

## 登録有形文化財 丸岡家住宅美観向上整備事業について



【長屋門及び築地塀】

丸岡家住宅(旧御師丸岡宗大夫邸)は伊勢市宮町にあり、現存する旧御師邸として歴史的・文化的価値が高い建物です。

主屋・長屋門及び築地塀の2棟に分けて、国の登録有形文化財建造物に登録されています。令和元年度に国・伊勢市から補助金を受けて、外壁の杉板刻み囲いや漆喰などの修理を実施し、建物を美しくしました。

現在は伊勢まちかど博物館として公開されており、内部を見学する事ができます。見学の際には連絡が必要ですので、「伊勢まちかど博物館ホームページ」でご確認ください。